

# 県民だより

7 月号



編集・発行 栃木県企画部広報課

〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20

TEL 028-623-2159 FAX 028-623-2160

## 特集◎栃木県消防防災航空隊

# 空をかける。県民の安全を守る。

周囲を山に囲まれた益子町の大郷戸ダム。ここで、消防・防災ヘリコプター「おおるり」による救助訓練が行われている。

県消防防災航空隊は、平成八年十一月に栃木ヘリポート（芳賀町）に設置され、翌九年四月に業務を開始した。隊員は各消防本部から派遣された消防職員九名と操縦士、整備士など総勢十九名。

県民の安全と貴重な財産を守る事が航空隊の使命。林野火災時の空中消火、山岳等における捜索や救助、救急患者の搬送や物資輸送など、隊員たちの活動は多岐にわたる。

緊急運航の合間をぬって行われる航空隊の訓練に同行した。



隊員が負傷者を抱え、安全にヘリに引き上げる。

### 消防・防災ヘリコプター「おおるり」

ベル式412EP型。全長約17m。  
1,800馬力の双発タービンエンジンを搭載し、白根山頂でも救助活動が可能。  
最大巡航速度、時速243km。  
県境までわずか15分余りで到着する。  
火災消火時は、1,300ℓ搭載可能なタンクを装着する。



ヘリから降下した隊員は、すばやく救助にあたる。

### 安全に、確実に、一秒でも早く

林の上空に「おおるり」の機影が見えた。赤い機体が瞬く間に頭上にせまる。そして轟音。想像を超える風圧。必死でカメラを構える背中を隊員が支えてくれる。

地上三〇mの高さでホバリングする「おおるり」の扉がいつばいに開く。隊員が身を乗り出すと、すばやくロープを滑り降りてくる。担架を担いだ隊員が後に続く。地面に置かれた訓練用的人形を手際よく担架に乗せ、ワイヤーにつなぐ。手を大きく広げ機上の隊員にサインを送ると、担架と隊員は滑らかに引き上げられていく。

訓練は繰り返し行われる。人形を使わずに隊員自らが救助される側にもなる。林に場所を変え、視界が遮られた場所からの救助訓練が続く。訓練は様々な地形や気象条件、負傷状態を想定して行われる。ひとつの訓練行程が終わることに

「おおるり」は旋回しながら上空で待機する。地上では隊員たちが集まって互いの動きを確認しあう。隊員たちの顔には緊張感がみなぎっている。頬に汗が流れる。

約一時間の訓練が終わると、ヘリポートに戻ってミーティングが行われる。「負傷者を引き上げるとき、不安を与えないようにもつとしっかりと抱えたほうがいい」。救助される側の心理状況も訓練の重要な要素。操縦士が旋回のスピードについて隊員に確認する。安全に、確実に、一秒でも早く救助するには隊員同士の意思疎通は不可欠だ。

「緊急事態はいつ起こるかかわかりません。いざというときに、完璧な救助活動ができて当たり前。一秒でも早く。訓練といえどもミスは許されないので。」と小池隊長は言う。

運航開始からの「おおるり」の緊急運航は六月末現在で一一七件にのぼる。平成十年の那須豪雨災害ではいち早く現地に到着し十六名の人命を救助した。

消防防災航空隊の訓練は今日も続く。

◇問合せ 県消防防災航空隊  
TEL 028-677-1119



訓練状況に応じ、隊員たちに次々と指示が出される。

# 麻薬・覚せい剤・シンナーの乱用をなくそう ダメ。ゼツタイ。

—断る勇氣、止める勇氣、やめる勇氣—

覚せい剤の乱用が増えている。平成七年以降、検挙者数は全国で二万人に迫る勢いで推移。「第三次覚せい剤乱用期」とまでいわれている。

平成十一年の覚せい剤押収量は二トシ。年間使用量は二十トシと推計される。

乱用による検挙者数は一八四九一人、うち未成年者は千人を超える。覚せい剤の乱用者数は推計で一〇〇万人から二六九万人という。

麻薬、シンナー、その他の薬物を加えるとその数はさらに増える。

## 青少年に乱用者が増加

覚せい剤などの薬物は、乱用者本人の心身への影響はもちろん、幻覚・妄想が凶悪な犯罪や事故を引き起こすことがあるなど、周囲にも影響が及びます。このため、薬物の使用、所持などは、法律で厳しく禁止されています。

覚せい剤乱用による検挙者数は、昭和五十九年以降減少していましたが、平成七年を境に増加しており、第三次覚せい剤乱用期といわれるほどになっています。

この特徴は中・高校生などの未成年者・初犯者の割合が増えていることです。覚せい剤のすそ野が確実に広がっているといえます。

県内でも検挙者数は増加しています。栃木県の平成十一年の総検挙者数は三五八人、うち、未成年者は三十六人で約十%を占めます。未成年者の検挙率（未成年者人口

口十万人あたりの検挙者数）は全国平均を大きく上回っており、平成十年には全国ワースト一位という統計もあるなど、深刻な状況になっています。

また、県で設置している薬物相談への相談件数を見ても、平成九年に十九件だったものが、十年には三十六件、十一年には八十五件と大きく増加しています。

## 簡単に入手できる環境

覚せい剤の密売人たちの手口はますます巧妙、かつ悪質になっています。インターネット上で売買が行われたり、公衆電話に「覚せい剤あります」というカードが貼られたこともあります。

また、子どもたちの小遣い程度で買える量で密売するなど、若者が容易に入手できる環境になっています。

## 安易な子どもたち 希薄な抵抗感

県警少年課によると、昨年検挙された三十六人の未成年者の入手経路は、異性や遊び仲間からが二十四人。密売人・暴力団からが六人、外国人からが五人となっています。

さらに、動機で見ると興味や好奇心で始めた子どもたちが二十九人と八割を占めています。

県業務課の麻薬取締員（麻薬Gメン）は、県内の未成年者の薬物乱用の状況を次のように話しています。

## 薬物乱用に関しては、予防に勝る方法はありません



精神保健福祉センター所長  
精神科医師  
大西 守

薬物はこわいですよ。まずやめられない。麻薬、覚せい剤、シンナー。一回ごとに心身が蝕まれていきます。脳や内臓が冒される。情緒不安定になって、幻視幻聴、被害妄想などがでてきます。場合によっては死ぬことだってあります。

本人だけの問題ではない。家族に心配をかけ、お金を使う。被害妄想から犯罪もおこる。覚せい剤の代金は暴力団の資金源となり、間接的に悪に加担することになる。女性は、たとえやめた後でも奇形児の生まれる確率が高いといわれています。

薬物依存症は、犯罪であると同時に「病気」なんです。たった一度やっただけでやめられなくなってしまう「依存症」は、本人の意志とか性格の問題ではない、脳の病気だということを理解していただきたいですね。

治療開始が遅れると、今の医療レベルでは治せません。薬物依存症に関しては予防に勝る対応方法はないんです。……

万一薬物を乱用してしまったというとき、特に初期は本人の問題意識が希薄なことが多い。だから家族の対応が非常に重要です。

一日でも早い方がいい、相談することをおすすめします。

親は表沙汰になる前にやめさせようとして、結果的に乱用を支え続けてしまっているケースが多いんです。「やめるから小遣いをくれ」「くれないと盗む」といわれて小遣いを渡す。でも子どもはそれでお金で薬物を買ってしまう。親が「一日も早く子どもを突き放すことが子どものためになる」と気づくことが必要です。

こういう環境の中で、子どもたちの抵抗感が希薄であることに強い危機感を抱いています。

「今最も問題なのは、ごく普通の家の子どもが、あまりにも安易にはじめていることです。どんな害があるのか、どんなに危険なのか、子どもたちは分かっていない。だから、興味本位で試してしまうんですね。『自分もやらないと仲間はずれになるから』といった集団意識、仲間意識で始めてしまう」

「一回でも死に至ることがあります。……」

……

ツトを配布しています。また、中学・高校で、ビデオなどを使って実例をあげながら薬物の恐ろしさを知ってもらう薬物乱用防止教室を行うなど、子どもや親、県民に向けた普及啓発を行っています。

薬物乱用を防ぐためには、一人ひとりが薬物乱用の正しい知識を持ち、誘われたら断る勇氣を持つことが必要です。乱用を根絶するため、地域全体で乱用を許さない環境をつくっていきましょう。

◇問合せ 県業務課

TEL 233-3331

# とちぎ県民カレッジ であい、輝き、広がり

## ●学習の「あゆみ」を記録

とちぎ県民カレッジでは、市町村や大学などと連携し総合的に学習機会を提供しています。県が主催する「主催講座」、市町村、大学・高校・専門学校などで行う「連携講座」の中から、希望にあった講座を受講できます。

六月三日、平成十二年度県民カレッジの開講式を行いました。開講式に先立ち、前日の二日には、宇都宮市の県総合教育センターで学長の渡辺知事の特別講座が行われました。

前期主催講座では現在「とちぎ学」四講座と「くらしと社会」三講座が行われています。特に、宇都宮市以外の地域で行う「出前講座」は、「歴史セミナー」を栃木市で、「自然セミナー」を真岡市で行っていますが、会場が狭く感じられるほど多くの方が受講しています。

また連携講座は「健康・スポーツ」「文化・教養」「地域活動」「能力・自己開発」「郷土理解」の五コースになっています。講座数も年々増え、前期は三五四講座を開講しています。一日に真岡市と宇都宮市の二か所で開催する講座の方や、講座後に自主的に活動するグループなど、受講者の皆さんの、熱心に学習する様子が見られています。



奨励証を学長の渡辺知事から交付

奨励証が交付されます。昨年三名の方が初めて百単位を取得され、奨励証が渡されました。その後現在までに百単位取得者三名、二百単位取得者一名の方から、奨励証の申請が出されています。

## ●後期講座の募集

主催講座は、八月十四日から募集を始めます。連携講座の募集案内は、八月に、お近くの公民館や図書館、郵便局、銀行、県の各施設などでお渡しします。なお連携講座は、講座を開設している市町村・大学などに直接お申し込みください。

皆さまの参加・受講をお待ちしています。

◇問合せ



講座を受ける受講生の皆さん

トピックス  
**TOPICS**



幽玄の美 薪能「葵の上」

**県民の日記念行事開催**

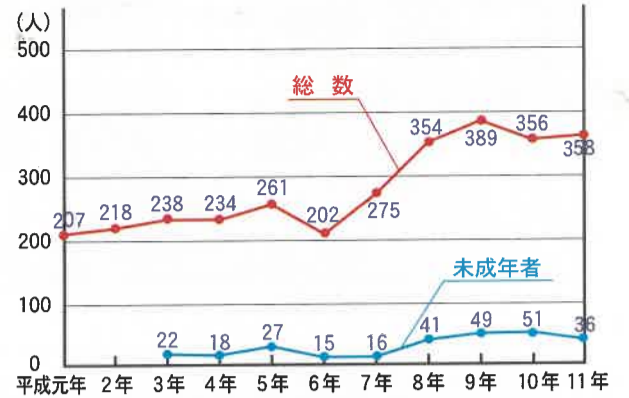
六月十五日の県民の日を記念して、県内各地で様々なイベントが行われました。

県内七ブロック、足尾・茂木・国分寺・藤岡・氏家・馬頭・黒羽の各町で地域の特色を生かしたイベントが行われ、五万人以上の人出で賑わいました。

県主催行事では、十二日に国分寺町で薪能が行われ一千人余りが幻想的な能を堪能したほか、十五日には宇都宮市で記念式典、十八日には馬頭町で栃木県交響楽団の演奏会が行われました。

特集 薬物乱用防止

本県の覚せい剤取締法違反検挙者数



は、ファッション感覚で始める子どもたちが増えていることです。

『スピード、S、ヤセ薬』などの名前や、『ダイエットできる、元気がでる、受験勉強の味方』といったうたい文句に興味を持ってしまっている。

また麻薬Gメンは、乱用方法が変化していると言います。検挙された三十六人の中で、十二人が注射以外の方法で使用しており、薬物を安易に始めてしまう動機として「乱用方法が変わってきている」ことをあげています。

「注射の痕も残らないから大丈夫」といわれ、タバコを吸う感覚で始めてしまうケースが多いようです。

「すぐやめられる薬物」なんてないんです。これを分らせなければいけません。子どもたちを薬物から守るためには、薬物の有害性、危険性についての正しい知識を早い段階で知らせてやる必要があります。

**正しい知識と環境づくり**

県では、「県薬物乱用対策推進本部」を設置し、関係機関の連携を図りながら、薬物乱用防止の普及啓発活動や、乱用者の取締りの強化に取り組んでいます。

街頭でのキャンペーン、小中学生や高校生、一般向けのパンフレ

〈薬物相談窓口〉 身近に乱用者がいたら1日も早くご相談ください

薬務課薬物相談電話	TEL 028-623-3779
薬物相談 (Eメール)	090 4826 2373 @dokomo.ne.jp
宇都宮市保健所	TEL 028-626-1104
県西健康福祉センター	TEL 0289-64-3029
県東健康福祉センター	TEL 0285-83-7220
県南健康福祉センター	TEL 0285-22-6119
県北健康福祉センター	TEL 0287-22-2364
安足健康福祉センター	TEL 0284-41-5897
精神保健福祉センター	TEL 028-673-8785

**パスポート日曜日交付始まる**

七月から、旅券センター（JR宇都宮駅西口一階）で、日曜日にもパスポートが受け取れるようになります。サービスの始まった二日には、平日の倍以上の三三〇

パスポート日曜日交付始まる

また、今年には県民の日の制定から十五周年になることを記念して、星野富弘さんの「花の詩画展」を開催。宇都宮市、藤岡町、氏家町の三か所を巡回しました。各地からのべ一万人以上の方が訪れ、美しい絵や詩に見入っていました。

◇問合せ 県文化振興課  
TEL 028-623-2153



星野富弘さんと一緒に記念撮影



日曜日の交付は全国3例目

**「烏山山あげ祭」県内初の地域伝統芸能大賞受賞**

烏山山あげ祭保存会が、(財)地域伝統芸能活用センターの地域

人の方が訪れ、パスポートを受け取りました。

パスポートの受け取りは申請者本人に限られており、平日受け取りに來られない方から、日曜日に受け取れて便利になったと好評をいただいています。

※申請の受付や、出先旅券窓口での申請・交付は今までどおり平日のみです。ご注意ください。

◇問合せ 県旅券センター  
TEL 028-638-3811



若衆の操作で変化する舞台背景の「山」

賞しました。

山あげ祭は、約四五〇年前、疫病退散を祈願し奉納された余興が続いているもので、国の重要無形民俗文化財にも指定されています。

特産の和紙を使った「山」とよばれる舞台背景は、大きい物で高さ十尺。百人以上が操作して、所作狂言おどりの場面毎に変化させる豪壮な野外劇です。

今年七月二十一日から二十三日まで開催されます。二十二日には、二〇〇〇年を記念して全六町の大屋台が町内を練り歩きます。

◇問合せ 烏山町生涯学習課  
TEL 0287-83-1412

とちぎに国会を!!

●国会等移転 Q&A

皆さまから寄せいただいた質問にお答えします

Q) 今の国の財政状況を考えると、国会等移転は中止すべきでは?

A) 国会等移転は、国政全般の改革の契機、東京一極集中の是正、国の災害対応力の強化など、国家的な意義を持つものです。特に災害に関してみると、東京を含む南関東は大地震がいつ起きてもおかしくないと多くの地震学者が指摘しています。仮に大地震が発生し、政治・行政の中枢が一時的にでも麻痺した場合、国内はもちろん全世界に大きな影響を与えると考えられます。このことから、国会等移転は、時々の財政状況に左右されることなく早急実現すべき国家的課題であると考えます。

移転費用についてみると、当初約10年間でされる国会を中心とした新都市の建設に必要な公的負担(栃木・福島地域の場合)は、2兆7,000億円と試算されています。1年平均では2,700億円となり、国の毎年の公共事業費約10兆円の配分の中で、対応は十分可能であると考えます。

◇問合せ 県企画調整課 国会等移転対策室 ☎028-623-2209



那須野が原公園サンサントワーからの眺望

後期主催講座の募集

【募集人数】各講座30～80名程度  
【募集期間】8月14日～9月11日  
【受講料】3,000円  
(夜間の国際理解セミナーのみ5000円)  
【申込方法】募集パンフレットとじこみの往復ハガキ、または官製往復ハガキで  
【申込・問合せ】  
〒320-8530 宇都宮市本町1-8  
栃木県総合文化センター内  
(財)とちぎ生涯学習文化財団  
TEL028-643-1006

	テーマ	実施期間	主会場
とちぎ学	とちぎの絵画	10月4日～11月29日	栃木県総合教育センター
	とちぎの山と自然	10月5日～12月7日	栃木県総合文化センター
	世界遺産「二社一寺」と日光	10月5日～12月14日	日光市(輪王寺雲雲閣、日光市総合会館)
くらしと社会	とちぎの人物II	10月6日～12月8日	小川町(ふるさと館、なす風土記の丘資料館)
	医療と健康の知識	10月7日～12月9日	栃木県総合教育センター
	応援します! あなたの子育て	10月7日～12月9日	栃木県総合教育センター
	音楽で巡る世界の旅I	10月6日～12月8日	栃木県総合文化センター

熱心に  
とちぎ県民カレッジ事務局  
TEL 028-665-7206

# マロニエ とちぎ 緑花祭



花 歳 時 記

## キバナシャクナゲ (ツツジ科)

関東地方では女峰山の山頂部付近でしか分布が確認されていない貴重な樹木。その花はハイマツの深い緑色の海原に浮かぶ孤島のような。幹や枝は、地面を這いながら複雑に絡み合っています。

### ウォッチングポイント

女峰山へは霧降高原から尾根沿いに登るか、裏男体富士見林道から谷筋を登ります。開花時期は7月中旬。

## 県子ども総合科学館

●第37回企画展「現代版忍者村」7月15日(土)～9月3日(日) ●忍者の修業やからくり忍者屋敷が体験できます。



●8月12日(土)・13日(日)に忍者教室、忍者ショー開催 (写真イメージ)

●星と音楽のひととき「DISNEY ON JAZZ」8月12日(土)午後3時 ●プラネタリウムにて「星空とジャズアレンジのディズニー音楽」 ●問合せ ☎028-659-5555

## 県立美術館

●20世紀最大の風刺画家 ジョージ・グロス～ベルリン・ニューヨーク～



ジョージ・グロス 街路 1915年

●8月6日(日)～9月24日(日) ●ワイマール共和国時代のベルリンで痛烈に社会を風刺した作品からニューヨーク亡命後の活躍までを、国内で初めて紹介します。

●問合せ ☎028-621-3566

## 県立博物館

●第67回企画展「化石アラカルト—集められた世界の化石から—」7月16日(日)～9月3日(日)



サメの歯

●講座①「栃木県の発掘事情」7月16日(日) ②「子供昆虫教室—昆虫って何だ—」7月23日(日) ③「土の中の虫たち」7月30日(日) ●対象 ③は小学校4年生以上 ●いずれも電話でお申し込みください。

●問合せ ☎028-634-1312

## 県総合文化センター

●第5回カルフル・シアター「金のがちょう」7月16日(日)午後2時開演、グリムの館(石橋町) ●第6回カルフル・コンサート「錦織健テノールリサイタル」



●10月14日(土)午後6時開演、高根沢町民ホール ●10月15日(日)午後4時開演、那須野が原ハーモニーホール ●劇団わらび座公演「菜の花の沖」 ●11月23日(祝)午後3時開演 司馬遼太郎作 ●問合せ ☎028-643-1010

## 県政 提案



### 催し

#### ●緑の相談所の催し

【中央公園☎028-636-7621】◎小学生写生大会作品展●7月20日(木)～30日(日) 【井頭公園☎0285-82-4475】◎講座「親子で作る折り紙教室」●7月30日(日)午前10時～正午 ●折り紙で花を作ります ●電話申込み 【那須野が原公園☎0287-36-1220】◎講座「クワガタ教室」●7月20日(祝)と7月23日(日)のいずれも午前10時～11時30分と午後1時～2時30分 ●対象 小学生 ●電話申込み 【みかも山公園☎0282-55-7733】◎講座「花結いアレンジ」●7月23日(日)午前10時～正午 ●電話申込み

#### ●わんぱくわくわく探検隊(夏の陣)

●8月19日(土)～20日(日)1泊2日 ●会場 出流ふれあいの森(栃木市) ●内容 自然体験キャンプ ●対象 小学生から高校生50名 ●参加費 4,000円 ●申込み 8月2日(水)までにハガキかFAXで ●問合せ 県立太平少年自然の家(栃木市平井町638) ☎0282-24-8551、FAX0282-24-8569

#### ●森と湖に親しむ旬間の催し

①ダム的一般公開 7月21日(金)～31日(月) ②さかなのつかみどり 7月29日(土)午前10時～、東荒川ダム親水公園内(塩谷町) ●問合せ 那珂川水系ダム管理事務所 ☎0287-43-5224

### 募集

●第14回栃木県都市公園写真コンクール作品募集 ●応募規定 県営都市公園の四季折々の表情をカラープリント4つ切りで。アマチュアの方に限ります ●応募期間 10月1日(日)～12月20日(水)

●問合せ 県都市施設課 ☎028-623-2474

#### ●心の輪を広げる体験作文、障害者の日ポスターの募集

◎作文 ●テーマ 出会い、ふれあい、心の輪—学校、職場、地域であなたの体験を広げよう ●応募資格 小学生以上 ◎ポスター ●テーマ 障害者又は障害者施策への一般の理解と協力を促すポスター ●応募資格 小・中学生 ◎応募方法 学生は学校へ、一般は県障害福祉課へ ◎応募締切 9月6日(水)必着 ●問合せ 県障害福祉課 ☎028-623-3491

#### ●フェスタinパルティ ボランティア募集

●10月27日(金)～28日(土)、午前9時30分～午後3時30分 ●内容 会場案内、イベント補助等 ●募集人員 5名 ●応募方法 8月1日(火)～5日(土)に在所 ●問合せ とちぎ女性センター(宇都宮市野沢町4-1) ☎028-665-7706

#### ●栃木県優良デザイン商品の募集

●募集部門 レジャー・ホビー用品、日用品、住宅関連品、産業機器、環境・パッケージ ●対象 県内に事業所を有する資本金5億円以下の企業又は個人事業者 ●募集期間 8月31日(木)まで ●問合せ 県工業課 ☎028-623-3199 アドレス <http://www.iri.pref.tochigi.jp/t-mark/>

#### ●10月1日現在の栃木県の人口は?

●10月1日に行われる国勢調査の栃木県人口の予想を募集します ●賞金 1等5万円、2等3万円他 ●応募 ハガキか電子メールで10月1日(日)まで(当日消印、受信まで) ●問合せ 県統計課(宇都宮市馬場1-1-20) ☎028-623-2246、メールアドレス [tokeika@pref.tochigi.jp](mailto:tokeika@pref.tochigi.jp)

#### ●統計グラフ栃木県コンクール作品募集

●課題、紙質・色彩は自由 ●用紙の大きさ たて72.8cm、よこ51.5cm ●締切 9月4日(月)必着 ●問合せ 県統計課 ☎028-623-2242

#### ●とちぎふるさと自然塾

●魚のつかみどり、とうもろこし収穫、そば打ち、日光彫り、川下り等を体験します ●8月2日(水)

～3日(木)・8月3日(木)～4日(金)黒羽町、8月3日(木)～4日(金)・8月10日(木)～11日(金)栗山村、8月5日(土)～6日(日)那須町、藤原町、8月6日(日)～7日(月)藤原町、8月9日(水)～10日(木)日光市、すべて1泊2日 ●申込みはJTB各支店へ ●問合せ 県林業振興課 ☎028-623-3272

#### ●「集まれ!こども環境探検隊」参加者募集

●8月5日(土) 県民の森(矢板市) ●川の水と生物の観察・水質実験、森の自然観察と自然工作教室 ●対象 小学生と保護者(先着50名) ●応募締切 7月31日(月) ●問合せ 県環境管理課 ☎028-623-3185

#### ●「とちぎ・つくばのつどい」参加者募集

●県内中小・中堅企業の方々とつくば国立研究所の交流・連携のきっかけづくり ●8月24日(木)～25日(金)1泊2日 ●内容 工業技術院物質工学工業技術研究所・科学技術庁金属材料技術研究所の見学、講演会、交流会 ●申込み締切 8月4日(金) ●問合せ 県工業課 ☎028-623-3249

### 案内

#### ●不動産取引紛争相談

●8月4日(金)、8月31日(木)、9月21日(木)、10月13日(金)のいずれも午後1時30分～4時 ●会

## 栃木県の広報番組

#### 【とちぎテレビ】

●シリーズ「ふるさととちぎ」その魅力を探る

①7月23日(日) とちぎ学事始  
②8月13日(日) 避暑地日光探訪  
放送時間はいずれも21:30～21:55

#### ●「とちぎ情報局」

●毎週木曜日 22:00～22:45  
(再)日曜日 8:30～9:15  
※7月16・23日は8:05～

「大なわとびに挑戦!みんなでジャンプ」  
7月20日(木) 佐野市立植野小学校チーム  
7月27日(木) 河内町立岡本小学校チーム



みんなのキャンプ 佐野市

#### ●クローズアップとちぎ

●毎週土曜日 9:00～9:45 ※7月は8:05～(再)月曜日 22:00～22:45

#### 【テレビ東京(12チャンネル)】

#### ●とちぎウォッチング

7月27日(木) 9:25～9:30  
「芭蕉やすらぎの地～黒羽」

●問合せ 県広報課 ☎028-623-2190

## マロニエとちぎ 緑花祭 2000

花いっぱい、楽しさいっぱいの「マロニエとちぎ緑花祭2000」が9月9日から11月5日までの58日間、壬生総合公園と宇都宮市総合運動公園の2会場で開催されます。

約700種類、100万本の花で華やかに飾られます。このほか、楽しいステージや数々の催しが開催されます。

### 花と緑の体験型催事参加者募集

●クラフト工房(みぶ会場)  
籐や竹などの素材を使って楽しむ工芸や染色などの創作教室(毎日開催)  
●コンテナガーデンスクール(うつのみや会場)  
寄せ植えやハンギングバスケットなどの教室(土日曜日、祝日開催)  
※詳しくは、実行委員会事務局(県庁南別館)、市町村役場にあるパンフレットをご覧ください。

◇問合せ 実行委員会事務局催事課  
☎028-623-3684



### 期間中のステージ紹介

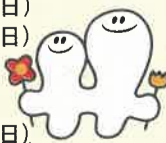
たくさんのタレントや歌手が緑花祭の会場にやってきました。ほんの一部を紹介します。

#### 【みぶ会場】

Something Else (9月15日)  
イルカ (10月9日)  
ル・クプル (10月22日)  
白井貴子 (11月3日)

#### 【うつのみや会場】

遠藤久美子 (9月23日)  
井上あずみ (9月30日)  
森口博子 (10月21日)



### 豪華賞品のあたる応募券付き

#### 前売入場券発売中!

	普通入場券		全期間入場券 (パスポート)
	前売券	当日券	
大人	1,200円	1,500円	2,500円
シルバー	600円	800円	1,300円
高校生	600円	800円	1,300円
小中生	400円	500円	1,300円

※普通入場券1枚で、みぶ・うつのみや両会場に入場できます。  
※全期間入場券は、両会場を何度でも入場できます。

◇問合せ 第17回全国都市緑化とちぎフェア  
実行委員会事務局 ☎028-623-2478